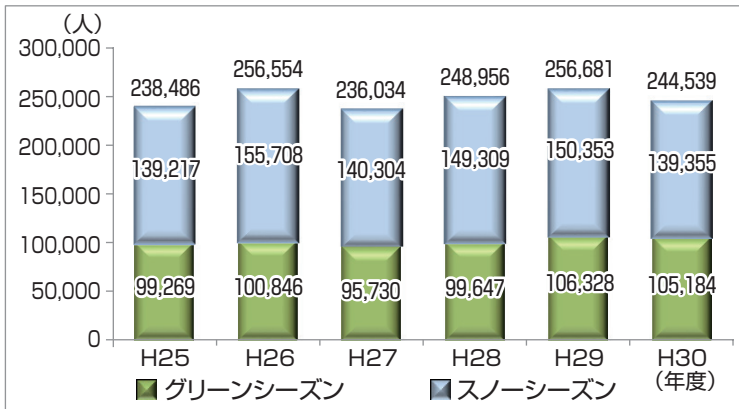


富士見町開発公社・パノラマリゾートの経営状況をお知らせします

問 産業課 商工観光係 ☎62-9342

(1) パノラマリゾートの状況 ～グリーン・スノーシーズンとも天候になやまされた一年でした～



スノーシーズン

前年比 93%
スキー・スノーボードだけでなく、キッズパークも人気。入笠山は、雪山でのスノーシュートレッキングで賑わいます。

グリーンシーズン

前年比 99%
山野草公園では、春から夏、様々な山野草の移り咲きを楽しみ、秋は早朝の雲海やナイトゴンドラでの星空観察が楽しめます。

■グリーンシーズン

「お手軽ハイキングと入笠山トレッキング」「花の宝庫」が広く認知されてきており、不順な天候や災害級ともいわれた夏の酷暑の中でも、4月～8月までは前年を上回る来場者数で推移しました。しかし、台風等の悪天候の影響を受けた9月は来場者減となり、結果グリーンシーズンは昨年並みの来場となりました。マウンテンバイクコースの運営では、初心者やリピーター、増加しつつあるアジア圏からのニーズを受け、新コース造成の準備中です。雲海ゴンドラ営業では、メディアへの露出の増加や雲海の発生率が昨年より高かったことにより、前年比113%の集客ができました。

■スノーシーズン

暖冬のため造雪作業が計画どおり進まず、前年より数日遅れてのオープンとなりました。この遅れにより、スキー客の来場が伸び悩みを見せるとともに、自然降雪も少ない影響で入笠山のトレッキングも集客ができない状況でした。降雪設備が整い「安定したゲレンデ」が浸透してきたパノラマではありますが、今冬は暖冬に苦戦したシーズンでした。県内のスキー場では早々に閉場を決定した施設もある中、前年比7%減に抑えられたのは日帰りスキー場としての広報宣伝の効果によるところが大きいものと考えられます。

(2) 平成30年度 富士見町開発公社の決算状況

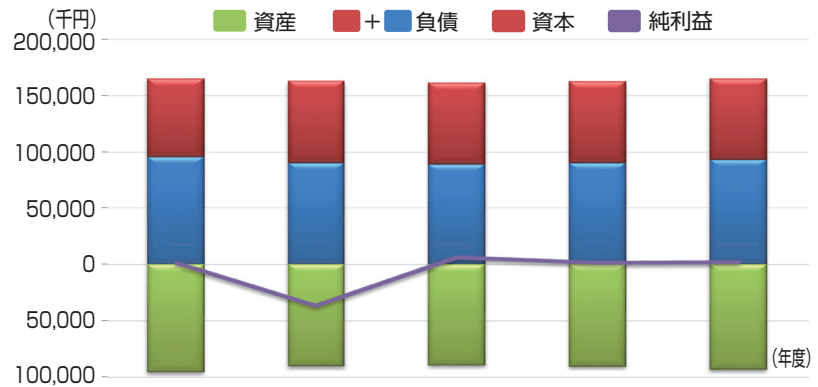
富士見町開発公社は、パノラマリゾートの他にも、以下の施設等の指定管理を受託し、事業を行っています。

- ・川崎市少年自然の家
- ・多摩市少年自然の家
- ・戸田市少年自然の家

また、本社事業として、丸山墓地の指定管理も受託しており、適正な維持管理に努めています。

施設管理事業では、各施設ともそれぞれの自治体の要請に沿って、安全、安心の事業運営に努めました。指定管理事業の基幹である自然体験活動については、四季を通じた様々な活動から自然について総合的な学習ができる環境を提供し、それぞれの自治体の付託に応えました。多摩市少年自然の家では、この先10年間の指定管理者として選定され、更に施設の有効活用と利用者増に取り組みます。

平成30年度は富士見町によるパノラマ支援計画のうち、上下分離方式による長期借入金返済の最終年度にあたり、新たな成長計画を策定していく転換期を迎えました。開発公社の成長に向けて新たなプロジェクトを組織し、検討を重ねました。今後も引き続き取り組み続けます。



	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収益	1,553,942	1,375,001	1,512,270	1,476,768	1,396,354
費用	1,551,984	1,411,462	1,505,835	1,475,334	1,394,039
純利益	1,958	-36,461	6,435	1,434	2,315
資産	953,623	899,709	889,185	901,170	929,584
負債	1,646,497	1,629,126	1,612,240	1,622,863	1,649,291
資本	-692,874	-729,417	-723,055	-721,693	-719,450

